

【案件概要】

カタクウィ県聖ケビン・トロマ保健センターⅢにおける一般病棟建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	聖ケビン・トロマ保健センターⅢ
供与額	73,730米ドル
署名者	ジョイス・メアリー・アエジョ(保健センター長)
計画名	カタクウィ県聖ケビン・トロマ保健センターⅢにおける一般病棟建設計画
実施地	カタクウィ県オモドイ準郡(ウガンダ東部)
供与内容	一般病棟, トイレ棟, 家具(ベッド・マットレス), 酸素濃縮器
贈与契約署名日	2017年3月7日

ウガンダ東部カタクウィ県に所在する聖ケビン・トロマ保健センターⅢは、1952年にウガンダカトリック教会ソロティ教区により設立された医療施設で、現在は人口約17,000人を包括し医療サービスを行っています。現在、同施設には一般病棟がないため、ベッド数20床の産科病棟を出産用、小児用、救急用、及び一般用として使用し、大人から小児までの入院患者を受け入れています。感染症を含む様々な疾患で入院している大人、免疫の弱い乳幼児、妊産婦が同室に混在しており、乳幼児は繰り返し感染症に罹ることもあり、時に重篤化するケースもあります。また、妊産婦へのプライバシーも皆無であるため心的苦痛を感じる妊産婦も少なくありません。男性患者は、女性及び小児と混在した病棟への入院を拒むケースが多く、そのため自宅に留まり症状が重篤化するケースも少なくありません。本計画では、一般病棟及びトイレ棟が建設され、ベッド18床(マットレス含む)及び酸素濃縮器が整備されることにより、一般外来治療で入院を必要とする1日約18人(月約540人)の大人から幼児までが裨益します。

2. 贈与契約署名式

2017年3月7日、在ウガンダ日本国大使館において、中村温臨時代理大使とジョイス・メアリー・アエジョ保健センター長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

